

# 社会福祉法人愛生会

## 平成 27 年度事業報告書

1. 本部拠点（八千代市吉橋 1059-17）
  - ①特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑（第一種社会福祉事業）
  - ②在宅介護支援センター愛生苑（公益事業）
  - ③ケアハウスガーデンライフ八千代（第一種社会福祉事業）
  
2. かがやき拠点（八千代市大和田新田 346-1）
  - ①愛生苑デイサービスかがやき（第二種社会福祉事業）
  
3. なごみ拠点（八千代市緑が丘 2-17-1）
  - ①グループホームなごみ（第二種社会福祉事業）
  - ②小規模多機能居宅介護なごみ（第二種社会福祉事業）
  
4. 村上地域拠点（八千代市村上 1113-1 村上団地 2-7-104）
  - ①八千代市村上地域包括支援センター（公益事業）

## 特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑の事業報告

### 1. 特別養護老人ホーム愛生苑

#### (1) 27年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	4名
退所	1名	1名	0名	0名	2名	2名	1名	1名	0名	2名	2名	1名

新規入所 合計 13名（経緯：自宅9名、他施設3名、病院1名）

退 所 合計 13名（苑内にて7名、病院にて5名、長期入院1名）

#### (2) 27年度 月末入所者数の推移

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ人数
4月	6名	12名	8名	19名	8名	53名	1,556名
5月	6名	12名	8名	17名	9名	52名	1,555名
6月	6名	11名	8名	14名	14名	53名	1,475名
7月	3名	14名	8名	14名	15名	54名	1,584名
8月	4名	12名	8名	15名	13名	52名	1,630名
9月	4名	14名	8名	16名	9名	51名	1,520名
10月	4名	14名	6名	14名	13名	51名	1,516名
11月	4名	13名	6名	16名	12名	51名	1,487名
12月	4名	13名	7名	15名	13名	52名	1,539名
1月	4名	13名	7名	15名	12名	51名	1,494名
2月	3名	13名	6名	15名	13名	50名	1,412名
3月	3名	12名	9名	16名	13名	53名	1,546名
合計	51名	153名	89名	186名	144名	623名	18,314名

※定員 54床にて稼働

#### (3) 年齢構成 ※平成27年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	0名	9名	26名	17名	1名

#### (4) 27年度年間の男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	85.9 歳	最高年齢	94 歳
女性平均年齢	87.3 歳	最高年齢	101 歳
男女平均年齢	86.6 歳		

#### (5) 平均介護度

・男性平均介護度 3.4      ・女性平均介護度 3.4      ・男女合計平均介護度 3.4

#### (6) 27年度 年間行事活動報告

	装 飾	食行事	行事・外出	月間レクリエーション
4月	桜	クッキング、外食 ラーメン屋台	花見外出	音楽療法、生け花、誕生者出前 DVD観賞、お楽しみ入浴
5月	鯉のぼり	うどん蕎麦屋台 饅頭バイキング	バラ園 外食会 カラオケ外出	菖蒲湯、音楽療法、生け花 お楽しみ入浴、誕生者出前 書道
6月		ラーメン屋台 お楽しみおやつ	バラ園 坪井公園外出 縁日	音楽療法、生け花、書道 お楽しみ入浴、誕生者出前
7月	七夕飾り	お楽しみおやつ	スイカ割り	音楽療法、生け花、書道 お楽しみ入浴、誕生者出前
8月	夏の飾り	アイスクャンディー屋 ソフトクリーム屋	夏祭り 東葉サマーコンサート	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴
9月		お楽しみおやつ	大相撲観戦（国技館） 敬老会	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴
10月	もみじ	ラーメン屋台 うどん蕎麦屋台 饅頭バイキング	縁日 バラ園 ガールスカウト慰問	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、リンゴ風呂
11月	〃	マグロ解体ショー うどん蕎麦屋台 饅頭バイキング	東京スカイツリー イチョウ狩り 縁日	音楽療法、誕生者出前 お楽しみ入浴、書道
12月	クリスマスツリー 電飾	クリスマス食	クリスマス会 餅つき	ゆず風呂、音楽療法、生け花 誕生者出前
1月	正月飾り	正月料理	初詣 正月遊び	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前

2月	雪ダルマ飾り	おやつバイキング お楽しみおやつ	豆まき	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、みかん風呂
3月	雛人形	いちご狩り クッキング	ひな祭り	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴

## 2. ショートステイ愛生苑

### (1) 27年度 月別利用者数の推移

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	3名	34名	38名	110名	126名	59名	29名	370名
5月	0名	43名	54名	124名	92名	64名	34名	377名
6月	0名	59名	68名	116名	85名	62名	30名	390名
7月	0名	69名	90名	147名	71名	68名	31名	445名
8月	0名	64名	77名	155名	80名	67名	31名	443名
9月	0名	35名	66名	165名	60名	84名	31名	410名
10月	0名	33名	61名	186名	69名	71名	30名	420名
11月	0名	36名	61名	132名	94名	119名	31名	442名
12月	0名	33名	56名	94名	111名	130名	30名	424名
1月	0名	49名	38名	72名	117名	129名	29名	405名
2月	0名	40名	43名	68名	108名	127名	28名	386名
3月	0名	53名	41名	55名	103名	145名	28名	397名
合計	3名	548名	693名	1,424名	1,116名	1,125名	362名	4,909名
割合	0.06%	11.2%	14.1%	29.0%	22.7%	22.9%	—	—

### (2) 利用状況

- ①27年度新規利用者数 22名（全て八千代市在住の方）  
 ②地区別利用実績 八千代市、習志野市、千葉市花見川区

### (3) 年齢構成

①27年度末月集計より

	～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男性	1	1	4	3	0	1
女性	0	0	0	9	8	0

#### (4) 27 年度年間男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	78.8 歳	最高年齢	100 歳
女性平均年齢	88.5 歳	最高年齢	97 歳
男女平均年齢	84.7 歳		

#### (5) 平均介護度

- ・ 男性平均介護度～2.5
- ・ 女性平均介護度～3.6
- ・ 男女平均介護度～3.1

### 3. 各課業務、活動報告

#### (1) 生活相談課

##### ①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所相談</li> <li>・ 入所検討</li> <li>・ 事前面接、調整</li> <li>・ 契約書作成、説明</li> <li>・ 書類作成</li> <li>・ 金品管理、返還手続き</li> <li>・ 解約手続き</li> <li>・ 行政へ報告書類作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談業務</li> <li>・ 生活状況確認</li> <li>・ ご家族への連絡</li> <li>〔カンファレンス 近況報告、書類 入退院連絡調整</li> <li>・ 苑内外の行事調整</li> <li>・ 介護保険請求業務</li> <li>・ 受診、救急対応</li> <li>・ 各会議への参加</li> <li>・ 送迎業務</li> <li>・ 事業間連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入退所状況報告 及び書類作成</li> <li>・ 介護保険認定調査 調整</li> <li>・ 行政代行手続き</li> <li>・ 各種報告書作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設見学、説明</li> <li>・ 職場体験学習受入 (小学校、中学校)</li> <li>・ 実習生受け入れ</li> <li>・ 地域催し物への参加</li> <li>・ ボランティア受入</li> </ul>

##### ②部門計画の報告

###### (a) 特別養護老人ホーム愛生苑

「新たな加算取得」(日常生活継続支援加算、看取り介護加算)

平成 27 年度法改正を受けて適切な施設運営を推進するため、苑として加算取得を進めました。日常生活継続支援加算は、介護職員における介護福祉士数と新規入所者の基準を満たしたことで年度半ばより加算を取得し今現在も継続しています。

看取り介護加算については、家族を交えて意向や確認を行うカンファレンスや PDCA サイクルに基づいた体制構築が図れず加算取得まで至りませんでした。要介護 3 以上による新規入所者の介護に加えて看取り介護の充実化を図るため次年度は委員会を立ち上げ体制づくりを始めます。

#### 「入所に係る手続き」

27年度の法改正で新規入所に関する指針が改められたことで、苑の入所指針も改定し入所検討会を適正に進めました。満床への取り組みでは、要介護3以上の方を優先して入所している現状から、本人の体調や家族の意向と合わせると更に時間を要するケースがしばしば発生しました。また前年度には、かかりつけ以外で入所前検診を受けるケースがあり、入所までのやりとりに時間を要することがあったが、今年度はかかりつけ医での書類作成に統一し比較的スムーズに対応できました。しかし毎月入所検討会を行っています、入所辞退や入所に適さないケースも多く発生しました。入所までの期間削減が難しい場合は、改善策として申込み内容の修正や新たな添付書類を検討することとしました。また今後の課題として、事前に詳細を把握することや入所検討数の増加、要介護3以上の申込者数自体の確保も必要と考えております。

#### 「サービスの質向上、ご利用者ご家族との関わり強化や信頼確保」

介護保険改定や加算取得に関して、家族向けに事前説明を行ったことで問題なく同意が得られました。また、介護保険負担限度額認定基準が見直されたことで減額対象外となる利用者がいたが、内容に同意の上で利用を継続されています。

費用負担に伴うサービスの質について、苑の取り組みとして家族との関わりを増やした中、細かな要望がこれまで以上に聞かれるようにはなりました。その場で解決できることが多いが、必要時は家族と関係部署交えてカンファレンスを行うことで改善を図りました。今後、継続性の確認が必要となっています。また怪我や事故発生時は、迅速に対応したことで入所者や家族から要望を伺うことはありませんでしたが、発生原因や不安な思いを聞くことはありました。以下の通り、改善策を講じ家族の方にも同意を得え再発防止に取り組んでおります。

- ・介助方法の変更・介護の状況が見えるように実施例を掲示し、実行。
- ・職員間では事故検証や勉強会を行い、再発を防止。
- ・生活相談課内では随時ミーティングを行うことで、相談対応の進捗管理や報告を行い情報共有。
- ・介護、相談対応状況について、その後の検証を行っていくことで対応を見直す。

#### 「特養増床への取り組み」

特養3階部分の10床増床計画に基づき着工しました。28年度6月1日より定員64床として運営することとなりました。開所時期に合わせた入所計画を立て、4か月前から入所検討会を行い、利用者を選定しました。

#### (b) ショートステイ愛生苑

##### 「健康管理」

面接やカンファレンス、送迎時の情報により体調や疾病、内服状況をより把握する事で内部での情報提供が的確に行えました。結果として些細な異変へも気付け、早期に家族や担当ケアマネージャーへ報告し必要時は早期受診対応も実施できました。また苑内での感染症発生もなく、予防への取り組みも行えました。

### 「ニーズに沿ったサービス提供」

利用者の身体状況に応じ、生活するフロアを確保し外出する苑内外の行事へは適宜お誘いし参加を促す事ができました。下半期からは介護度 4、5 の利用率が高くなり、より身体介護や認知症介護の充実性を図る課題が挙がりました。

## (2) 介護サービス課

### ①部門計画の報告

#### 「職場環境の改善」

下半期より職員の異動や退職があり、新入社員が入社するも定着しない傾向が続きました。人材を確保し業務負担軽減の見直しを図る事を目標に掲げておりましたが、結果として休憩時間を増やす等の課題は一部の業務担当の際のみとなり、毎日全員がといった事は達成できませんでした。介護業務の効率を図り、残業時間の軽減や人材の確保、介護機材の導入等の検討課題が重要視されるので、次年度も継続課題として取り組みます。

#### 「人材の育成・確保」

新入社員では正規・非正規職員の経験者、正規・非正規職員の未経験者と 4 つのパターンで指導方法を検討し提示する事ができました。軽作業や軽い介護から業務する配置や勤務時間なども経験に応じ配慮した形で取り組みました。結果として「大変」というイメージを持たれ数日で退社してしまう職員がいた事や、新しく介護補助として採用した職員の勤務内容の周知が行きわたらず、混乱を与える事もありました。主任職間で今後の対策を立てて見直しを行いました。欠勤等も含めた人員不足の影響もあり介護業務をしながらの指導では思う様な指導に繋げる事が出来なく、また 27 年度は新入社員の定着を優先する関わりや新人職員を指導する OJT 職員への関わりに時間を費やし、中堅職員においては苑内勉強会や研修参加のみとなってしまった。

#### 「特養部門の連携と課内で意見を出し合い、終末期ケアに取り組む」

4 月に勉強会を開催し、終末期ケアの進め方や自分に置き換えてケアを考えるきっかけ作り、カンファレンスを終末期ケアのみに捕らわれず開催し、家族を交えて利用者について一緒に悩み考えていく事で家族と一体となり連携の中で終末期ケアを行う事ができました。しかし課題も残り、継続した経過や意向の確認等、終末期ケア後の振り返りまでは多忙な家族も多く行えませんでした。体制の構築や今後必要なケアに対し、ご家族を交えての振り返りは必要になるので看取って終わりではなく、その後に繋げる体制を作り上げる課題が残りしました。また人員の問題で、カンファレンスの場には主任・副主任が主に同席してきたが、居室担当も交えての参加に改善していきます。

### ②委員会の各種参加報告

委員会	活動内容
生活委員会	排泄関係（排泄用品管理、排泄状況の集計・アドバイス）、食事用品用具の管

	理、入浴関係（各種入浴の管理、消毒・塩素・ろ過の管理）
レク委員会	月間予定表の作成、行事企画の立案、装飾品管理、クラブ活動、お楽しみおやつ、クッキング、お楽しみ入浴、ラーメン・うどん・蕎麦屋台、苑内外の余暇活動の企画及び補佐を行い実施
リスク委員会	事故集計と分析・対策検討、会議内での要因対策報告、リスクケア一覧表の作成、事故報告書・ヒヤリハットの書類管理、勉強会開催
環境委員会	感染症対策（物品管理や注意喚起）、寝具管理、害虫駆除対策、カーテン管理 加湿器エアコン管理、掃除用具管理

### ③施設内勉強会開催内容

5月	終末期ケア
6月	危険予知訓練、褥瘡ポジショニング（外部講師）
7月	感染症（疥癬）、食中毒、衛生管理
8月	軽尿道的膀胱留置カテーテル
9月	褥瘡、陰部洗浄、圧抜きグローブ・スライディングシート使用法
10月	スタンダードプリコーション（標準予防措置策）
11月	感染症（ノロウイルス、インフルエンザ、嘔吐物処理）対策
2月	リスクマネジメント

### ⑤研修参加報告

介護技術 権利擁護	認知症介護実践研修、リスクマネジメント研修、転倒転落予防セミナー 拘縮・褥瘡予防ケア研修、虐待防止研修、感染症研修（施設編、基礎知識編、発生時の対応編）
指導、 育成研修	介護ファシリテーション、新人管理者研修、新規採用職員研修 相談員研修、地域包括ケアシステム、相談援助技術

## （3）医務サービス課

### ①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（平成27年4月1日～平成28年3月31日実施）
回診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診



定期健康診断	胸部レントゲン、心電図、尿検査、 血液検査（血清・生化・血糖）
新規入所者	感染症検査、結核、W氏、HBC、HCV、MRSA その他、上記定期健康診断項目

外来受診者延べ人数

専 門 外 来	人 数	入 院
内 科	57名	14名
外 科	1名	1名
脳 外 科	4名	2名
整 形 外 科	39名	3名
精 神 科	17名	1名
神 経 内 科	10名	0名
婦 人 科	5名	0名
泌 尿 器 科	9名	0名
眼 科	6名	0名
皮 膚 科	27名	0名
合 計	175名	21名

受診先：新八千代病院 八千代病院 セコメディック病院 島田台病院  
東京女子医大八千代医療センター 岡崎外科 むらた整形外科クリニック  
むらたレディースクリニック 加藤眼科

その他

訪 問 歯 科	延 べ 281名 受診
インフルエンザ予防注射実施	利 用 者 49名

②勉強会、委員会等の各種参加報告

勉強会開催	委員会参加	会議参加	研修参加	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員研修</li> <li>・感染症と予防策</li> <li>・スタンダード プリコーション</li> <li>・終末期ケア</li> <li>・バイタルサイン</li> <li>・吸引、経管栄養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症委員会</li> <li>・虐待防止委員会</li> <li>・防災委員会</li> <li>・夏祭り委員会</li> <li>・入所判定委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養部門会議</li> <li>・ケースカンファレンス</li> <li>・給食会議</li> <li>・入所判定会議</li> <li>・医務課内会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症研修会</li> <li>施設編</li> <li>基礎知識編</li> <li>発生時編</li> <li>・認知症メカニズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査</li> <li>・体重測定</li> <li>・終末期家族への説明</li> <li>・病院受診と連絡相談</li> </ul>

### ③部門計画の報告

終末期の対応における利用者や家族の意向として、苑での看取り介護を希望されるケースと病院での看取りを希望されるケースが、ほぼ同じ割合でした。終末期における家族説明やカンファレンスに参加をし、また介護職への勉強会を通し質の高い終末期ケアへの関わりをもって医務課として実務にあたる事ができました。また感染症の拡大予防を掲げ、勉強会や感染予防委員会を通しての情報提供と実践を踏まえ、インフルエンザ・感染性胃腸炎に関して、罹患者は発生しませんでした。

また 27 年度は受診回数が多い年度となり、昨年度に比べ骨折による手術・入院、皮膚科への受診が増加傾向となり施設内での処置対応者も増加傾向にありました。

(4) 栄養管理課

【1日平均食数表】

	特 養							小計	ケアハウス	かがやき	小規模多機能	グループホーム	職員	その他	検食	合計
	主 食			副 食												
	御飯	全粥	ミキサー	常食	刻み	超刻み	ミキサー									
4月	89	83	20	37	45	82	28	192	42	18	9	21	34	1	9	326
5月	79	84	19	33	44	77	28	182	41	18	9	17	33	1	9	310
6月	77	86	19	33	42	79	28	182	38	18	9	17	34	2	9	309
7月	80	91	21	35	40	85	32	192	40	18	9	18	32	2	9	320
8月	80	94	21	31	46	85	33	195	38	17	9	17	32	2	9	319
9月	73	94	22	33	46	76	34	189	39	17	10	17	33	2	9	316
10月	71	91	20	34	46	70	32	182	40	17	10	17	34	2	9	311
11月	75	92	21	35	47	74	32	188	42	17	10	18	34	2	9	320
12月	79	87	23	35	50	69	35	189	42	17	10	17	33	2	9	319
1月	77	80	22	34	49	60	36	179	42	17	9	16	31	1	9	304
2月	78	84	20	37	50	58	37	182	39	18	10	17	32	2	9	309
3月	88	75	20	42	49	56	36	183	38	18	11	18	32	2	9	311
平均	79	87	21	35	46	73	33	186	40	18	10	18	33	2	9	315

## 【給与栄養目標量】

	推定エネルギー必要量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μgRE	mg	mg	mg	g
常食Ⅰ	1,250	50.0	32.0	190.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅱ	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅲ	1,650	66.0	42.0	250.0	19.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満

常食Ⅱを施設全体の基準とする

## 【給食状況】

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維総量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
4月	1,470	57.0	36.8	656	6.8	696	0.76	0.79	86	12.3	8.54
5月	1,462	57.2	35.4	663	6.6	499	0.75	0.76	89	12.1	8.45
6月	1,455	57.2	34.7	656	6.9	685	0.75	0.79	81	12.1	8.46
7月	1,445	56.6	34.7	650	6.4	678	0.75	0.81	81	11.9	8.48
8月	1,460	56.8	36.0	658	6.8	701	0.74	0.85	87	12.3	8.68
9月	1,448	57.0	35.2	630	6.7	690	0.73	0.80	82	12.0	8.56
10月	1,449	55.9	35.7	618	6.9	680	0.75	0.77	82	12.0	8.82
11月	1,452	55.9	35.8	618	6.9	680	0.75	0.77	82	12.2	8.88
12月	1,450	55.7	36.2	629	6.8	690	0.75	0.78	80	12.2	8.79
1月	1,442	56.0	35.0	617	6.6	665	0.73	0.76	82	12.1	8.95
2月	1,448	55.5	36.7	620	6.7	711	0.73	0.77	81	12.5	8.86
3月	1,454	56.0	36.4	624	7.0	684	0.75	0.79	94	12.4	8.87
合計	17,435	677	429	7,639	81	8,059	9	9	1,007	146	104
平均	1,453	56.4	35.7	637	6.8	672	0.75	0.79	84	12.2	8.70
目標量	1,450	58.0	37.0	600	6.0	650	0.90	1.10	100	17.0	8g未満

## 【行事状況】

月	日	行 事	内 容
4 月	1 日	開苑記念日 お楽しみおやつ	お弁当 赤飯、天ぷらの盛り合わせ、他 ねりきり 枝桜
	5 日	四季の食	山菜うどん、他
	10 日	メッセージクッキー	春の花 チューリップ
	19 日	ポスター食	ウインナーピラフ、他
	24 日	ポスター食	たぬきそば、他
	26 日	風呂の日	長野県 善光寺まんじゅう 1
5 月	1 日	リクエスト食	カレイの煮付け、他
	2 日、3 日	お楽しみおやつ	まんじゅうバイキング
	5 日	子供の日	穴子ちらし寿司、他
	10 日	四季の食 メッセージクッキー	グリーンピース御飯、他 母の日
	18 日	ポスター食	焼うどん、他
	26 日	風呂の日	長野県 善光寺まんじゅう 2
	28 日	リクエスト食	ツナカレー、他
6 月	5 日	ポスター食	スパゲティーナポリタン、他
	10 日	四季の食	空豆御飯
	18 日	ポスター食	カレーうどん、他
	21 日	メッセージクッキー	父の日
	24 日	ご当地麺	ジャージャー麺、他
	22 日、24 日	お楽しみおやつ	ソフトクリーム屋さん
	26 日	風呂の日	群馬県 ぐんまちゃんまんじゅう 1
29 日	四季の食	とうもろこし御飯、他	
7 月	7 日	七夕	七夕ちらし、他
	10 日	四季の食	枝豆御飯、他
	13 日	郷土料理	宮崎県 冷や汁
	20 日	メッセージクッキー	海の日
	26 日	風呂の日	群馬県 ぐんまちゃんまんじゅう 2
8 月	3 日	夏祭り	屋台のお弁当、他
	5 日	土用の丑の日	うな重、他
	11 日	メッセージクッキー	山の日
	13 日	四季の食	精進揚げ、他
	18 日	四季の食	冷やしとろろそば、他

	21日、25日 26日 28日	お楽しみおやつ 風呂の日 四季の食	ソフトクリーム屋さん 福島県 いわきの塩まんじゅう 1 夏野菜カレー、他
9月	3日 12日 21日 24日 26日 27日 29日	四季の食 四季の食 敬老の日 ご当地麺 風呂の日 メッセージクッキー 四季の食	さんまの塩焼き、他 栗ご飯、他 赤飯、祝い膳、他 沖縄そば、他 福島県 いわきの塩まんじゅう 2 中秋の名月 さつま芋御飯、他
10月	12日 13日 26日	四季の食 メッセージクッキー リクエスト食 風呂の日	きのこ御飯、他 体育の日 軟らかとんかつ、他 宮城県 松島まんじゅう 1
11月	8日 13日 22日 24日 26日 29日	メッセージクッキー ご当地丼 マグロ解体ショー ご当地麺 風呂の日 四季の食	立冬の日 長野県 駒ヶ根ソースかつ丼、他 鉄火丼、他 広島県 尾道ラーメン、他 宮城県 松島まんじゅう 2 银杏御飯、他
12月	12日 22日 25日 26日 28日 31日	ポスター食 四季の食 メッセージクッキー クリスマス 風呂の日 もちつき 年越しそば	鶏ごぼう御飯、他 冬至 南瓜のいとこ煮、他 冬至の日 ローストチキン、他 青森県 竜飛岬まんじゅう 1 おやつ おしるこ かき揚げそば、他
1月	1日 2日、3日 7日 11日 14日 18日 21日 26日 29日	お正月 お正月 七草 鏡開き ポスター食 ポスター食 メッセージクッキー 風呂の日 四季の食	赤飯、おせち料理、雑煮風汁、他 ねぎとろ丼、天ぷら、他 七草粥 おやつ おしるこ ハヤシライス、他 あんかけ焼きそば、他 大寒の日 青森県 竜飛岬まんじゅう 2 ぶりの照り焼き、他

2月	3日	節分	五目ちらし、つみれ汁、他
	7日	ポスター食	ドライカレー、他
	11日	メッセージクッキー	建国記念日
	12日	四季の食	鱈のネギ味噌焼き、他
	14日	バレンタインデー	おやつ 函館ハイカラクッキー、他
	22日	リクエスト食	うな重、他
	26日	風呂の日	まんじゅう番外編 函館チーズタルト
3月	3日	ひな祭り	親子ちらし、桜餅、他
	12日	四季の食	竹の子御飯、他
	18日	四季の食	春野菜のパスタ、他
	20日	メッセージクッキー	春分の日
	24日	ポスター食	タンメン、他
	26日	風呂の日	まんじゅう番外編 沖縄紅芋タルト

ケアハウス 苑長屋台

月	日	内 容
4月	24日	生パスタのミートソース
5月	26日	かき揚げざるそば
6月	25日	冷やし中華
10月	22日	新そばを使用した ざるそば、かき揚げ、他
12月	31日	年越しそば かき揚げそば
3月	31日	ちゃんぽんめん

# 在宅介護支援センター愛生苑の事業報告

1) 部門方針1:「法定件数の確保、リスクの分散」

部門方針2:「ネットワークづくり」

## 【取り組みに対する評価と考察】

### (1) 営業への取り組み

① 市内の地域包括支援センターや病院のソーシャルワーカーを中心に随時、空き情報を対面や電話にて口頭伝達し、日頃からのコミュニケーションづくりを強化した。また、八千代ケアマネネットワークの活動を利用して、他居宅事業所との横のつながりを広げるように努め、空き情報等の情報交換を行い、法定件数を満たしているため受け入れができない場合等に紹介しあえる関係づくりを進めた。営業の取り組み結果として、安定した利用者数を継続的に維持することができた。

② 法令順守し、中立公正の立場での運営に努めた。職員の定着が図れており、常勤4名体制を維持して特定事業所加算の要件を満たした。主任介護専門員を2名配置し、困難事例や課内での検討会を通して現任ケアマネジャーの指導にあたり、地域包括支援センターからの困難事例にも随時対応できるように配慮した。次年度は主任介護支援専門員をさらに1名取得予定である。

また、地域包括支援センター主催の研修会や地域ネットワーク主催の研修会を中心として、計画的な研修参を行い、課内研修にも力をいれた。今後については、各ケアマネジャーの担当ケースの内容を把握しながら、その能力や特性に合わせて、ケースにしっかりと関わられる質の高いケアマネジメントを展開するため、件数配分だけにとらわれない柔軟な対応をしていく。

### (2) 組織力の強化

月1回の定例課内会議、月1回の地域ケア会議演習のための課内研修、週1回のケアマネジメントの質の向上のための小会議を開催した。

#### 【小会議】

地域の情報交換と意見交換を継続的に行っているが、今期は時間を拡大して担当ケースの共有に力を入れた。個別ケースを総合的にバックアップできることを目的として、新規ケースの初動報告や、何らかの一元的な対応が必要なケース等において、相談しあえる関係づくりを進めている。互いのケースに関心を持ち、担当不在時にもスムーズな対応ができるなどの成果がでている。

#### 【地域ケア会議演習】

担当ケースの共有と「ケア会議」の方法・技術を身に着けることを目的としていた。

目標は3点、「ケア会議の方法と技術を共有し、体験的に身につける」「ケア会議の進行過程を習得し、



何度の低い事例から取り扱い、進行過程を習得する基礎作りを行う」「方法・技術を共有できるレベルに達したら、新規事例の共有、困難事例の課題解決等に応用範囲を広げていく」とした。運営技術の蓄積と基礎固めの循環として、良質なケア会議を施行し、創意工夫を積みかさねて、実践化の技術を身に着けていく。

ケア会議の手順に沿って、「概要把握」と「全体像把握」をさらにレベルアップし、1月からは「アセスメント」「支援目標設定」へと進んだ。会議時間も60分から90分に拡大して、よりレベルの高い演習ができるように努めた。次年度も、課内のコミュニケーションの質を上げてチーム力を養い、ケアマネジメントの精度を上げていくことが継続的な課題となっている。

## 2) 月別利用状況報告

### ① 月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
既登録	133	136	139	140	143	144	148	147	148	149	146	148	
新規契約	6	7	9	5	3	6	2	6	4	5	6	5	64
契約終了	3	4	8	2	2	2	3	5	3	8	4	5	49
月末登録	136	139	140	143	144	148	147	148	149	146	148	148	
実績数	129	135	135	139	137	135	130	134	138	135	136	137	1620

4月より職員体制が常勤4名となり、昨年度末から法定上限人数が7人分増加し140人となった。積極的に新規獲得に努めた結果、年間15件のプラスとなった。実績数は4月時点では92%であったが、3月時点では98%まで伸ばすことができた。利用終了者は昨年度の小規模多機能居宅介護施設への移行を除くと、ほぼ同数で経過した。

### \* 新規契約相談経由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	5
地域包括	3	6	7	3	1	4	0	2	2	4	4	1	37
病院	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	1	6
家族直接	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	9
その他	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1	7
合計	6	7	9	5	3	6	2	6	4	5	6	5	64

その他の内訳は、他事業所からの紹介3件、生活支援課経由1件、法人内紹介3件

全体の相談経由の割合は昨年度と同様であり、地域包括からの依頼が57.8%と多数を占める。虐待や貧困等の問題ケースや多問題が複雑化するケースも増えているため、継続的に地域包括と連携をとり、協働していくことが必要である。

\*契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	5
死亡	1	1	2	2	1	1	2	0	1	4	2	0	17
入院入所	1	2	3	0	1	1	1	2	1	4	1	4	21
その他	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	6
合計	3	4	8	2	2	2	3	5	3	8	4	5	49

その他の内訳 転居 3 件、他居宅支援事業所に変更 1 件、自立 2

契約終了事由は小規模多機能への大幅な移行がなかった以外は、昨年と同じような内訳である。

\*要介護状態区分別内訳(実績数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	56	63	61	64	65	63	60	56	59	56	61	64	728
要介護2	29	29	28	30	28	32	28	30	31	31	29	29	354
要介護3	19	17	19	19	18	17	18	20	20	19	19	18	223
要介護4	18	19	19	17	17	16	15	18	18	19	17	15	208
要介護5	7	7	8	9	9	7	9	10	10	10	10	11	107
合計	129	135	135	139	137	135	130	134	138	135	136	137	1620

要介護1の新規依頼が多く、全体割合は要介護 1～2 の軽度者が 66.8%、3～5 の中重度者が 33.2%。軽度者の割合が多い。軽度者が多い原因としては、新規受け入れについて、地域包括からの依頼が上位であり、そのほとんどが介護度1であること。介護度や依頼内容によって、正当な理由なく相談を断らないことを原則としているため、結果として軽度者の割合が多くなっていることについては、特に問題視していない。

② 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市	3	4	5	3	5	2	4	2	2	2	5	4	41
習志野市	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
船橋市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
合計	3	5	5	5	5	3	4	3	2	3	6	4	48

その他内訳 横浜市 1 件、千葉市 1 件

同法人の施設での認定調査に限定して受諾している。通常業務の合間に行っているため、月 4 件程度（ケアマネジャー一人当たり1件）の受託が適切な量である。

### ③ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情件数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3

いずれも利用者側(本人、または家族)からの介護支援専門員の対応についてであった。双方のコミュニケーションの行き違いや、利用者側の物忘れによる思い違いが原因の一端でもあり、一連のケアマネジメントの支援方法に間違いはなかった。担当地域包括への相談・協力依頼を含めて適切に対応した。結果として、事業所内での担当交代や居宅変更によって問題解決に結びつけ、該当介護支援専門員に対してのフォローも行った。

### ④介護予防支援地域包括別委託状況(実績のみ)

地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大和田睦	7	8	9	9	7	7	8	9	9	10	8	7	98
高津緑が丘	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	30
八千代台	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
村上	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	49
市外	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	18
合計	18	19	20	19	16	16	17	20	19	20	18	17	219

圏域が近いこともあり、大和田睦、高津緑が丘地域包括からの依頼が多い。一方で、圏域が遠い阿蘇、勝田台地域包括からの依頼は皆無となった。昨年度と比べてほぼ同じ数で推移している。全体件数を24件として調整し、月平均18件、ケアマネ一人当たり5件弱の実績。要介護と同じ手間がかかることも少なくないため、予防枠を増やすことは難しい状況である。

## ケアハウスガーデンライフ八千代の事業報告

### 1. 事業所の種類及び職員数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

職種	人数	常勤/非常勤
苑長	1名	常勤1名(兼務)
生活相談員	1名	常勤1名
介護職員	3名	常勤2名/非常勤1名

### 2. 入居者介護認定状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

・定員 15名 入居者数 15名(男性5名 女性10名)

介護認定	男性	女性	合計
未申請(自立)	2名	3名	5名
要支援1	1名	0名	1名
要支援2	0名	1名	1名
要介護1	1名	6名	7名
要介護2	0名	0名	0名
要介護3	1名	0名	1名
要介護4	0名	0名	0名
要介護5	0名	0名	0名
合計	5名	10名	15名

### 3. サービス内容(各種サービス内容及びレクリエーション提供内容 平成 28 年 3 月 31 日現在)

#### ①服薬管理

自立	5名
一部介助	2名
職員管理	8名

#### ②月別送迎支援状況(延人数)

4月の利用者数	17名
5月の利用者数	20名
6月の利用者数	20名

7月の利用者数	18名
8月の利用者数	17名
9月の利用者数	18名
10月の利用者数	20名
11月の利用者数	17名
12月の利用者数	20名
1月の利用者数	19名
2月の利用者数	12名
3月の利用者数	20名
合計人数	218名

③受診付き添い介助

自立	8名
付き添い介助	7名

④クラブ活動参加状況

内容	担当	実施回数	平均参加者数
コーラス	ボランティア1名	月2回	4.6名
詩吟	ボランティア1名	月1回	2.1名
リズム体操	職員1名	毎週1回	4.8名
音読	職員1名	毎週1回	4.4名

⑤行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加者数
4月	【外食】・すし藤乃	7名
	【外出】・お花見（新川・道の駅）	6名
5月	【外食】・カウベル	4名
	【外出】・航空博物館	4名
6月	【外出】・京成バラ園	3名
7月	【外食】・一幸	5名
	【外出】・成田山新勝寺	3名

8月	【外食】・ホテルグリーンタワー幕張	6名
	【外出】・サマーコンサート	5名
	・愛生苑夏祭り	14名
9月	【外食】・とんでん	6名
	【外出】・中央図書館	3名
	・敬老会	14名
10月	【外食】・ホテルグリーンタワー幕張	7名
	・秋の運動会	14名
11月	【外食】・バーミヤン	6名
	【外出】・浅草浅草寺	5名
12月	【外食】・ピーターパン	7名
	・クリスマス会 ・餅つき	14名
1月	【外食】・王将	4名
	【外出】・初詣（飯綱神社）	11名
	・新年会	14名
2月	【外食】・焼肉むさし	6名
	・豆まき	7名
3月	【外食】・一幸	3名
	・ひな祭り会	7名

#### 4. 苦情受付報告

- ・平成27年11月より階下（3階）にて増床工事を行っており、日中工事の音が大きく「部屋にいられない」と入居者より苦情があった。入浴時も浴室の下にて破碎作業時の振動・騒音が響き「落ち着いて入浴できない」と訴えがあり、その都度謝罪・説明し納得して頂いた。

#### 5. 地域交流・慰問

団体名	日付	参加人数	内容
ボランティア団体	8月	5名	サマーコンサート
八千代相撲甚句協会	12月	6名	餅つき・相撲甚句

6. 入居者状況（平成28年3月31日現在）

①出身地

出身地	男性	女性	計
八千代市	5名	5名	10名
横浜市	0名	1名	1名
茂原市	0名	1名	1名
成田市	0名	1名	1名
渋谷区	0名	1名	1名
日光市	0名	1名	1名
計	5名	10名	15名

②入居前状況

家族と同居	4名
1人住まい（夫婦のみ）	11名

③月別入退所状況

	入所	退所	退所の理由				月初日 人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
H27.4月							15名
5月		1名			1名		15名
6月	1名						14名
7月							15名
8月		1名			1名		15名
9月	1名						14名
10月		1名			1名		15名
11月	1名						14名
12月							15名
H28.1月							15名
2月							15名
3月							15名
計	3名	3名	0名	0名	3名	0名	—

④年齢構成状況

年齢区分	男性	女性	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	0名	0名	0名
70～74	0名	1名	1名
75～80	1名	1名	2名
81～84	2名	5名	7名
85～90	1名	1名	2名
90歳以上	1名	2名	3名
合計	5名	10名	15名

- ・最高年齢 男性 90歳 女性 94歳
- ・最低年齢 男性 76歳 女性 73歳
- ・平均年齢 男性 84歳 女性 83.9歳 合計平均年齢 83.9歳

⑤ADL等の状況

1. 介護認定	自立	5名
	要支援1	1名
	要支援2	1名
	要介護1	7名
	要介護2	0名
	要介護3	1名
	要介護4	0名
	要介護5	0名
2. 在宅サービス利用者	訪問介護	3名
	通所介護	5名
	訪問歯科	0名
3. 移動（一部重複）	自立	10名
	杖使用	4名
	シルバーカー	2名
4. 入浴	自立	10名
	一部介助	5名
5. 着脱衣	自立	13名
	一部介助	2名



6. 食事	ご飯と常食で自立	13名
	ごはんときざみ食で自立	2名
7. 洗面	自立	15名
8. 金銭管理	自立	10名
	一部管理	1名
	家族管理	4名
9. 居室清掃	自立	12名
	介助（ヘルパー利用）	3名
10. 洗濯	自立	12名
	介助（ヘルパー利用）	3名
11. 買い物	自立	9名
	一部介助（家族、職員付添）	6名
	不可	0名
12. 通院（一部重複）	自立	6名
	送迎介助（職員）	7名
	送迎・付添介助（職員）	5名
13. 服薬管理	自立	7名
	一部介助（分包、仕分）	8名

## 愛生苑デイサービスかがやきの事業報告

### 活動・外出報告

4月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・折り紙・民謡・手話・音楽・尺八・カラオケ
	行事企画	リズムカルレク
	外出行事	お花見外出
5月	施設内活動	手芸・工作・民謡・書き方・壁面・絵手紙・習字・ゲーム・音楽・尺八・折り紙・体操
	行事企画	行事企画 名札作り
	外出行事	ピクニック外出
6月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・手話・脳トレ体操・折り紙
	行事企画	おまんじゅうバイキング・お茶会
	外出行事	紫陽花外出
7月	施設内活動	手芸・工作・民謡・書き方・壁面・絵手紙・習字・ゲーム・音楽・尺八・折り紙・カラオケ
	行事企画	ハンドマッサージ
	外出行事	買物外出
8月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙
	外出行事	梨狩り外出・買物外出
9月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・尺八・折り紙
	外出行事	梨狩り
10月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・脳トレ・民謡・音楽・手話・折り紙・腹話術
	行事企画	かがやき感謝祭・ハンドマッサージ・お茶会
	外出行事	バラ園外出
11月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙
	行事企画	ハンドマッサージ
	外出行事	バラ園外出

12月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・音楽・手話・尺八・折り紙
	行事企画	クリスマス会・餅つき・大正琴・お茶会
1月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙・音楽体操
	行事企画	ハンドマッサージ・お茶会
	外出行事	初詣
2月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・脳トレ・民謡・音楽・手話・折り紙・脳トレ体操・尺八
	行事企画	豆まき
	外出行事	昼食外出
3月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・尺八
	行事企画	神楽踊り
	外出行事	昼食外出

#### 年間会議

4月	かがやき会議 レク会議	10月	かがやき会議
5月	かがやき会議	11月	かがやき会議
6月	かがやき会議 レク会議	12月	かがやき会議 レク会議
7月	かがやき会議	1月	かがやき会議
8月	かがやき会議	2月	かがやき会議 勉強会
9月	かがやき会議 レク会議	3月	かがやき会議 レク会議

#### 委員会活動・勉強会

7月	感染症委員会	ノロウイルスやインフルエンザの対応方法などの確認を実施
2月	勉強会	介護福祉士2次試験実技対策の勉強を実施

## 消防避難訓練

5月	平成27年5月29日（金）14時～14時30分 職員・ご利用者16名合計21名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）
12月	平成27年11月27日（金）14時～14時30分 職員5名・ご利用者13名合計18名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）

## 実人数・延べ人数実績

月	実人数	延べ人数	月	実人数	延べ人数
4月	70名	544人	10月	62名	512人
5月	69名	543人	11月	64名	522人
6月	67名	537人	12月	62名	539人
7月	64名	539人	1月	63名	515人
8月	62名	516人	2月	64名	536人
9月	60名	504人	3月	63名	574人

## 総評

- 活動については、新たなボランティアの方が来ていただく事により、新たなサービスを提供することが出来た。作品作りも、季節に合った作品を提供することによりご利用者様に喜んで頂くことが出来た。
- 感染症委員会を開き職員からご家族やご利用者へ、感染した時の対応策などを周知することにより体調の変化などで休まれる方などを出すことがなかった。
- 消防訓練は、ご利用者の方にも水消火器を使って初期消火訓練を行ってもらうことが出来た。

## グループホームなごみの事業報告

### 1. 事業所名

グループホームなごみ

### 2. 職員数（平成 28 年 3 月 31 日時点）

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従
管理者		1名	
計画作成担当者		2名	
介護職員	6名	2名	7名

### 3. 年間利用実績

月別要介護度別実人数

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介1	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	42
介2	6	7	7	7	9	9	10	10	11	10	11	11	108
介3	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	1	1	32
介4	2	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	24
介5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	7
合計	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	213

年間実人数合計のうち、男女別人数

要介護度	合計人数	男	女
要介護1	42名	8名	34名
要介護2	108名	39名	69名
要介護3	32名	0名	32名
要介護4	24名	12名	12名
要介護5	7名	1名	6名
合計	213名	60名	153名

#### 4. 委員会活動（小規模多機能と合同）

設置委員会⇒リスクマネジメント委員会、レク委員会、防災委員会、地域交流委員会  
（活動状況）

- ・リスクマネジメント委員会～感染症予防対策・呼びかけ、事故内容検証
- ・レク委員会～夏祭り企画開催
- ・防災委員会～消防訓練企画実施、備蓄食品管理
- ・地域交流委員会～活動なし（※退職等に伴う人員減のため、レク委員会と合流）

#### 5. 会議、勉強会

27年4月～年度方針発表

27年11月～現状の問題点の抽出・改善計画、

28年1月～問題点の改善（継続）、救急対応勉強会

28年3月～看取り対応への振り返り・今後の対策、28年度に向けた方針

#### 6. 実習生受け入れ

27年10月 大原医療福祉専門学校1名受け入れ

#### 7. 防災訓練実施状況

27年7月 地震想定での安全確保・避難訓練

27年11月 夜間想定避難訓練、初期消火訓練

#### 8. 運営推進会議活動状況

会議構成～地区自治会長、近隣地区自治会長、民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、  
八千代市介護相談員、ご利用者代表・家族代表、愛生会職員

##### 【開催状況】

- |     |        |                      |
|-----|--------|----------------------|
| 第一回 | 5月8日   | 利用状況報告               |
| 第二回 | 7月10日  | 利用状況報告、サービス評価報告、防災訓練 |
| 第三回 | 9月11日  | 利用状況報告               |
| 第四回 | 11月13日 | 利用状況報告、防災訓練          |
| 第五回 | 1月8日   | 利用状況報告、ADE講習会        |
| 第六回 | 3月11日  | 利用状況報告、来年度活動計画       |

## 9. 地域交流事業

- ・いきいき教室（高津緑が丘地域包括主催）  
3月18日・25日  
「いきいきとした生活を送るために」
- ・AED講習会  
1月8日
- ・もちつき大会  
12月30日

## 10. レク活動実施状況

- 4月 お花見
- 5月 こいのぼり製作
- 7月 スイカ割り
- 8月 夏祭り
- 9月 敬老会（ミニ運動会）
- 10月 バラ園外出
- 12月 クリスマス会、餅つき
- 2月 クッキーづくり
- 3月 お茶会

## 11. 考察

- ・お客様入居状況としては、一時的な入院を除きほぼ18名体制を作ることができた。  
但し、現時点では空室もあり。問い合わせなどもあるが、高額な費用・医療体制などで申し込みに繋がらないケースが多くある。
- ・レク活動は上記の物以外では、日常的な体操や塗り絵・ドリルなどに偏り、量・質ともに不足している。ご家族からの要望も多くあげられるようになっており、日常生活の充実へ向けた策の打ち出しが必要。
- ・レクとともに、散歩など運動機会も不足しており、「歩けなくなった」といった声も多く寄せられるようになってしまっている。こちらも取り組んでいかななくてはならない。
- ・地域交流があまり進んでいない現状がある。運営推進会議を通じ、自治会との関係強化をしていくことが求められる。

# 小規模多機能居宅介護なごみの事業報告

## 1. 事業所名

小規模多機能居宅介護なごみ

## 2. 職員数（年度末時点）

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従
管理者		1名	
介護支援専門員			1名
介護職員	3名		7名
看護職員			2名
その他			4名

## 3. 年間利用実績

月別要介護度別登録人数

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
支2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	22
介1	6	6	6	6	6	7	7	7	8	8	8	8	83
介2	3	4	4	5	5	5	7	6	4	4	4	4	55
介3	3	3	3	3	3	2	1	1	2	2	2	2	27
介4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	2	25
介5	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31
合計	19	20	20	20	20	21	23	22	22	21	21	22	281

年間実人数合計のうち、男女別人数

要介護度	合計人数	男	女
要支援1	8名	8名	0名
要支援2	22名	16名	6名
要介護1	83名	36名	47名



要介護2	55名	39名	16名
要介護3	27名	4名	23名
要介護4	25名	11名	14名
要介護5	31名	0名	31名
合計	251名	114名	137名

月別サービス別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	275	290	269	299	285	298	322	314	296	276	282	352	3,558
宿泊	35	34	19	23	21	19	22	26	22	24	45	102	392
訪問	203	218	202	207	201	202	224	215	225	213	201	202	2,513

【要介護度別 サービス別利用状況】

要支援1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	9	0	0	0	0	9	9	8	9	9	8	9	70
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

要支援2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	13	23	19	23	19	11	13	15	12	12	14	20	194
宿泊	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	2	2	12
訪問	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	4

要介護1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	70	81	79	80	86	88	93	93	103	101	109	123	1,106
宿泊	4							1		1	24	34	64
訪問	50	60	49	53	50	52	49	55	55	55	31	26	585

#### 要介護2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	46	61	58	78	72	68	96	90	49	48	50	81	797
宿泊	5	9	3	5	6	3	6	7	6	5	7	50	112
訪問	53	71	82	77	70	55	82	68	75	72	75	76	856

#### 要介護3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	51	42	42	55	52	30	17	15	34	33	32	33	436
宿泊	3	3	5	5	5	3	5	4	5	4	4	4	50
訪問	37	20	17	37	41	0	0	0	0	0	2	0	154

#### 要介護4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	55	54	42	33	28	38	42	41	34	23	25	26	441
宿泊	12	11	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	25
訪問	63	67	54	40	40	52	48	52	50	42	50	54	612

#### 要介護5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	31	30	29	30	28	54	52	52	55	50	44	55	510
宿泊	11	10	11	11	10	11	11	12	11	11	8	12	129
訪問	0	0	0	0	0	43	43	40	45	42	43	46	302

#### 4. 委員会活動（グループホームと合同）

設置委員会⇒リスクマネジメント委員会、レク委員会、防災委員会、地域交流委員会

（活動状況）

- ・リスクマネジメント委員会～感染症予防対策・呼びかけ、事故内容検証
- ・レク委員会～夏祭り企画開催
- ・防災委員会～消防訓練企画実施、備蓄食品管理
- ・地域交流委員会～活動なし（※退職等に伴う人員減のため、レク委員会と合流）

## 5. 実習生受け入れ（グループホームと合同）

27年10月 大原医療福祉専門学校1名受け入れ 実働15日間

## 6. 防災訓練実施状況（グループホームと合同）

27年7月 地震想定での安全確保・避難訓練

27年11月 夜間想定避難訓練、初期消火訓練

## 7. 運営推進会議活動状況

会議構成～地区自治会長、近隣地区自治会長、民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、八千代市介護相談員、ご利用者代表・家族代表、愛生会職員

### 【開催状況】

第1回～5月8日 利用状況報告、

第2回～7月10日 利用状況報告、サービス評価報告、防災訓練

第3回～9月11日 利用状況報告、

第4回～11月13日 利用状況報告、防災訓練

第5回～1月8日 利用状況報告、AED講習会

第6回～3月11日 利用状況報告、来年度活動計画

## 8. 地域交流事業

・いきいき教室（高津緑が丘地域包括主催）

3月18日・25日

「いきいきとした生活を送る為に」

・AED講習会

1月8日

・もちつき大会

12月30日

## 9. レク活動実施状況

5月 こいのぼり見学

7月 スイカ割り

8月 夏祭り

9月 敬老会（ミニ運動会）、梨狩り

10月 京成バラ園外出

- 1 2月 クリスマス会、もちつき
- 2月 つるし雛見学（八千代市郷土資料館）
- 3月 お茶会

## **10. 考察**

- ・お客様数が22名から伸びず、営業面での不足あり。他事業所で対応中の方は、既存の「デイサービス」や「ショートステイ」の組み合わせ利用などで乗り切れるケースが多く、小規模多機能までの利用ニーズに繋がらない。また、新規の方などにとっては、利用のイメージがつかみにくいようで、サービス内容をどのように理解して頂くかが課題となる。
- ・下半期より、「夕食後の帰宅」ニーズの高まりがあった。同居家族の就労状況に応じたもので、小規模多機能サービスのメリットが活かされた形であったが、反面、訪問サービスのニーズには大きな変化は見られなかった。
- ・小規模多機能サービスの特性なのか、全てのサービスが受けられるため、家族によっては「丸投げ」のように任せて来るケースもある。家族の方に参加意識を持っていただけるよう誘導していくことも必要。
- ・お客様内でも、年齢や認知度に大きな開きがあり、共通の取り組みを行うことが難しい。複数レクの選択制での提供を急ぐ必要あり。
- ・入浴希望者数に業務が追い付いていない面あり、入浴日の調整をするケースがあった  
⇒1月に浴室改修を実施し、改善傾向にある。

# 八千代市村上地域包括支援センターの事業報告

## 1. 総合相談業務

相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	303	1899	
	来所	179	294	
	訪問	4	306	
	その他(FAX・メール)	2	52	
	<b>合計</b>	<b>488</b>	<b>2551</b>	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	4	18
		成年後見制度に関する相談	5	35
		日常生活権利擁護事業に関する相談	3	9
	介護	介護に関する相談	183	606
		介護保険制度に関する相談	185	494
		施設入所に関する相談	18	118
		福祉サービスに関する相談	36	152
	ケアマネ支援	ケースに関する相談	26	373
		地域資源に関する相談	7	16
		経済的相談	22	147
		介護予防事業に関する相談	3	19
		医療・健康に関する相談	99	519
		認知症に関する相談	53	309
		書類説明・管理に関する相談	15	87
		安否・状況確認に関する相談	39	170
		地域生活に関する相談	23	79
		その他	59	287
		<b>小計</b>	<b>780</b>	<b>3438</b>
	相談者	本人	128	789
		家族	185	492
成年後見人		0	7	
民生委員		20	119	
近隣住民・知人		19	23	
商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)		6	85	
住宅の管理者・大家・管理会社		7	34	
介護支援専門員		37	487	
介護保険サービス事業者		14	97	
医療関係者		31	201	
行政機関		25	191	
警察		12	13	
消防		0	0	
その他		4	13	
		<b>合計</b>	<b>488</b>	<b>2551</b>

※受付件数は27年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

地域包括支援センター業務マニュアルの基本的視点に基づき、地域の高齢者が住みなれた地域で、安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把

握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行うことを目的とし、活動いたしました。新規相談件数は年々上昇しており、平成25年度からの2年間で112件の増となり、488件となっております。

また、今年度は、相談データや情報を集約し、地域課題として提言していく事を目標として取り組みました。課内で社会資源の精査をした結果、新たな資源の把握にも繋がりました。また、そのデータについては、市町村が立ち上げた生活支援体制整備事業協議体にも活用されるなど、有効的な活用が行なわれています。

## 2. 権利擁護業務

高齢者虐待防止においては、虐待通報が増えています。マニュアルに沿い、市町村との会議開催や課内での協議を重ね、多面的な視点を心得、対応をしております。介護保険の利用や入院により分離を行なったケースもあります。分離を行っていないケースについては、ケアプランや介護サービスの見直し、養護者に対する助言指導等継続した支援を行ない、虐待の解消を図りました。

消費被害については、窓口での掲示、地域での普及啓発を積極的に実施いたしました。また、認知症高齢者を支援することの多い専門職である介護支援専門員に対し、市内地域包括支援センター共催で成年後見制度に対する研修会を開催いたしました。研修会直後に、介護支援専門員から制度導入に対する相談もあり、研修効果も感じられました。

### ① 高齢者虐待防止・権利擁護に対する取り組み

月日	実施主体	事項	包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議
27年4月～28年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:9回、村上東:9回)	○	○		○	
27年5月～27年12月	村上支会	定例会(7回)	○	○		○	
27年7月、10月、12月、2月、3月	上高野原支会	定例会(5回)	○	○		○	
4月19日	興和台団地興寿会	定例会にて認知症についての講演	○	○		○	
9月17日	八千代市地域包括支援センター	介護支援専門員向け成年後見制度研修会		○			
3月10日	村上東地区民生委員・児童委員協議会	定例会にて、介護保険制度についての講演	○	○		○	

②高齢者虐待防止法に基づく新規通報数・対応数

高齢者虐待対応	新規通報件数	対応延べ件数
	10	398
	上記のうち前年度以前通報ケースの対応件数	146

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域支援ネットワークの構築・強化

地域における包括的・継続的ケアを実践し、地域支援ネットワークの構築・強化を図るため、下記の取り組みを行ないました。

介護予防・日常生活支援総合事業の開始も視野に入れ、地域力の向上を目指し、社会福祉協議会と共同で「わがまち元気プロジェクト」にモデルとして取り組み始めています。

月日	実施主体	事項	目的(該当の項目に○を付けてください)					参加人数・効果	
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議		その他(内容記入)
27年4月～28年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:9回、村上東:9回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。発掘個別ケースの発掘、継続支援についても多大なご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
27年5月～27年12月	村上支会	定例会(7回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行なっている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
5月16日	上高野原支会	地域懇談会	○			○	○	自治会長との関係作り。地域連携体制の構築。	自治会長に対し、センター周知が行えた。各自治会が感じていた課題についても把握する事ができた。
27年7月、10月、12月、2月、3月	上高野原支会	定例会(5回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行なっている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
4月15日 6月17日 10月21日 2月18日	グループホーム美乃里	運営推進会議の出席					○	施設の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	グループホームの活動内容や取り組み、現状を把握した。
4月28日・7月4日 10月9日・12月3日 3月24日	小規模多機能ホーム アゼリ アガーデン	運営推進会議の出席					○	事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	事業所の年間計画や活動内容、取り組み、現状を把握した。また、地域課題についても提案し、地域の向上のため相互協力関係も築けている。
4月19日	興和台団地興寿会	定例会にて認知症についての講演	○	○		○			参加者28名。認知症についての知識、対応方法と共に包括の業務内容についての説明を行ない、理解を得られた。
6月19日	八千代市	行政説明 介護保険制度改正について	○						参加者より相談を受け、支援につながった。
7月8日	村上中央支会	転倒予防教室	○					村上北小学校の児童とゲームを通して交流。	高齢者と児童の交流の促進が行えた。
7月23日	八千代市認知症診療連携の会	定例会				○			医師とのグループワークを通し、認知症を有する方の対応について、医療との協働体制促進の定がめりとなった。
7月25日、26日	村上団地商店街	村上団地夏祭り	○			○		健康チェック 教護隊 世代間交流促進のため、暑中見舞いイガキのコーナーの設置	児童26名参加。児童やその親など、日頃、アプローチが難しい若い世代へ向けてセンターの周知が行えた。体調不良の高齢者に対し、緊急性の有無を判断し、翌日も体調確認を実施した。
7月27日	ふれあいサロン村上	定例会	○			○			参加者30名程度。サロン参加者の高齢化に伴い、参加者自らの意識向上と、サロン世話人の方達との連携を図る事が出来た。
9月2日	千葉県認知症疾患医療センター	東葛南郡認知症疾患医療連絡協議会				○			認知症疾患医療センターの取り組みや現状を把握できたことにより、認知症を有する方の対応について、医療との協働体制促進の足がかりとなった。
9月7日	ふれあいサロン村上	定例会	○			○		認知症予防についてクイズや体操を交えて講演。	参加者30名程度。サロン参加者の高齢化に伴い、参加者自らの意識向上と、サロン世話人の方達との連携を図る事が出来た。
9月25日	村上支会	世代間交流会	○			○			参加者数約180名。包括の業務内容について説明し、理解を得られた。
10月14日	村上中央支会	転倒予防教室	○			○		地域活動における包括周知、介護予防について運動や認知症予防クイズを交えて講演	参加者13名。包括の業務内容について説明し、理解を得られた。また、地区社協との連携を図る事が出来た。
10月25日	村上中央支会	世代間交流	○			○		元気体操の実施 健康チェック 地区社協イベントへの参加	子供から高齢者まで150名弱の参加者に対し、地域活動を通して包括をアピールすることが出来た。
12月9日	村上中央支会	転倒予防教室	○			○		地域活動における包括周知、介護予防について運動や認知症予防クイズを交えて講演	参加者15名。包括の業務内容について説明し、理解を得られた。また、地区社協との連携を図る事が出来た。



12月15日	ドリムクラブ(長寿会)	定例会	0					詐欺における注意・喚起	参加者15名。包括を知っている方がほとんどだったが、改めて相談内容について周知。また、マイナンバー制度についての質疑応答あり。
1月30日	興和台団地興寿会	定例会にて転倒予防についての講演	0						参加者20名程度。転倒予防を中心に、地域のサークルなど身近なところで活動する事の大切さを伝えた。また、センター機能の周知も行った。
2月10日	村上中央支会	転倒予防教室	0					体操の実施	参加者9名。参加者に健康増進の体操を実施するとともに、同教室で、継続した実施が出来るよう、主体である福祉委員へアドバイスを行った。
2月25日	八千代市認知症診療連携の会	定例会					0		医師とのグループワークを通し、認知症を有する方の対応について、医療との協力体制促進の足がかりとなった。
3月6日	上高野原支会	わがまち元気プロジェクト					0	0	福祉委員14名とグループワークを通し、地域課題を抽出。福祉員、地域住民の両視点からの課題が浮かれ、自分たちの住んでいる地域の理解や問題意識の向上につながった。
3月10日	村上東地区民生委員・児童委員協議会	定例会にて、介護保険制度についての講演	0	0			0		参加者19名。民生委員の役割を考慮した説明方法を実施。講演後の声より、民生委員が活動するうえでの一助となった事を実感した。

## ②介護支援専門員等に対する個別支援

介護支援専門員に対し、ケースに対する相談に応じ、必要に応じての情報提供、ケアプランの作成助言、協働によるケース支援を行いました。ケアマネジャーからの相談件数は、総合相談実績に記載してあるとおりです。市内地域包括支援センター共催で研修会も実施しました。

実施種別	実施の有無	
	有	無
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無
介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所 への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		
27年6月18日 八千代市地域包括支援センター合同研修会 事例検討会 27年9月17日 八千代市地域包括支援センター合同研修会 成年後見制度研修会 27年12月4日 八千代市地域包括支援センター合同研修会 事例検討会		

## ③個別ケース地域ケア会議開催実績

地域の力も活用しながら、個別ケース対応の向上を目指すため、個別ケースに関わる地域ケア会議を開催しています。会議後には、課題の改善がみられる、見守り体制の強化に繋がる等一定の効果を実感しています。

今後もより一層、地域ケア会議を推進し、高齢者個人への支援対応の向上のみならず、地域課題についても共通の認識をもち、地域ネットワーク強化にも繋げていきたいと考えています。

開催状況	開催件数	41
	内容(重複可)	
	独居高齢者世帯に関するもの	36
	高齢者世帯に関するもの	3
	認知症高齢者の支援に関するもの	16
	介護支援専門員支援に関するもの	2
その他	3	

#### 4. 介護予防ケアマネジメント事業、介護予防把握事業

把握された対象者について、基準に沿い、アプローチとアセスメント、実施後の評価を行いました。対応実績、プログラム実施者数は下表の通りです。

事業参加を問わず、アプローチ時に継続支援が必要と感じた対象者については、介護予防普及啓発事業とも連動した呼びかけや、体調、状況確認などの把握を実施いたしました。

##### ①対応実績（※一部に平成26年度対象者含む。）

項目	件数
訪問	17
来所	8
電話	201
合計	226

##### ②プログラム実施者数（※一部に平成26年度対象者含む。）

実施者数	5	ケアプラン作成あり	0
		ケアプラン作成なし	5

#### 5. 介護予防普及啓発事業（いきいき教室の開催）

圏域内事業対象者に対し、いきいき教室を3教室（計12回）開催いたしました。内容、参加者数は下表のとおりとなります。

今年度は、高齢化率が高いうえ、交通の便や場所により、高齢者が気軽に集まりにくいと思われる地区で1教室を開催しています。そのため、徒歩圏内の各戸にパンフレットをポスティングする等、広報活動にも力を入れました。結果、12名の参加となり、健康維持に対する啓発が行なえました。また、地域包括支援センター機能の周知の促進にもつながったと感じております。なお、開催には福祉施設の協力も得る等、地域の資源も活用させていただいています。

その他、2教室については、圏域内で高齢化率の高い村上団地内にて実施しております。今後ますます高齢化が顕著となる村上団地では、積極的に教室の開催を行なっていく必要性を感じております。

## 第1回教室

テーマ：運動機能の向上と健康について知識啓発(認知症予防・栄養改善・口腔ケア)			
日時	主な内容	場所	参加者数
9月29日	運動の必要性・運動習慣による身体的効果について	村上公民館	20名
10月6日	身近でできる体操 口腔機能	村上公民館	19名
10月13日	棒体操	村上公民館	19名
10月20日	楽しみながら行える運動 認知症予防	村上公民館	20名
10月27日	運動の継続、健康維持のための振り返り 栄養改善	村上公民館	19名

## 第2回教室

テーマ：運動機能の向上と健康について知識啓発(認知症予防・栄養改善・口腔ケア)			
日時	主な内容	場所	参加者数
11月19日	運動の必要性・運動習慣による身体的効果について	グループホーム美乃里 みのりホール	12名
11月26日	身近でできる体操 口腔機能	グループホーム美乃里 みのりホール	11名
12月3日	棒体操	グループホーム美乃里 みのりホール	8名
12月10日	楽しみながら行える運動 認知症予防	グループホーム美乃里 みのりホール	7名
12月17日	運動の継続、健康維持のための振り返り 栄養改善	グループホーム美乃里 みのりホール	10名

## 第3回教室

テーマ：運動機能向上			
日時	主な内容	場所	参加者数
2月5日	歩行能力の測定 関節痛について学ぶ 個人に適した運動方法を学ぶ	村上公民館	18名
3月18日	歩行能力測定 ロコモティブシンドロームを学ぶ 継続可能な運動方法を学ぶ	村上公民館	12名

## 6. 指定介護予防支援

利用者の状態に合わせ、利用者や家族の意向を含め介護予防支援計画書の作成を行いました。計画作成後、ご利用者、サービス提供事業者等から情報収集し、評価を実施すると共に、毎月モニタ

リングを行い、内容の変更などには随時対応しております。包括3職種職員の介護予防支援件数の制限についても遵守しております。また、センター独自で、自己チェック表を作成し、定期的な進捗管理や不備の防止に努めています。

また、業務の一部を指定居宅介護支援事業者に委託しているケースに関しても、給付管理や法令順守の精査、サービス担当者会議への出席、介護予防支援計画書への意見記載等を行ない、適切に業務が実施できるよう、管理や後方支援に努めています。

①介護予防支援給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約件数	153	160	157	168	165	172	165	171	178	178	182	185	2,034
給付管理件数	145	147	147	155	158	161	158	162	169	168	169	176	1,915
内 包括分	97	98	97	102	100	99	101	101	106	107	109	111	1,228
内 委託分	48	49	50	53	58	62	57	61	63	61	60	65	687
内 初回分(給付管理数に含まれる)	5	3	4	8	9	5	10	6	7	2	6	2	67
内 包括分	4	3	0	4	2	2	3	3	5	2	3	7	38
内 委託分	1	2	4	8	4	7	0	5	3	4	1	4	43

②介護予防支援実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援計画作成数

新規	再作成	合計
36	118	154

b. 訪問対応件数

実数	延数
133	800

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3698
	ケース以外の内容	96
	住宅改修のみ	99
来所	ケースに関連する内容	210
	ケース以外の内容	100

### ③介護予防支援一部業務委託先一覧

一部業務委託事業所	
グリーンヒル指定居宅介護支援事業所	八千代在宅介護センター
セントマーガレット病院	コープみらい高津介護センター
NPO法人 ユーアイやちよ勝田台	居宅介護支援センターアゼリアガーデン
勝田台病院	まちのナースステーション八千代
在宅介護支援センター愛生苑	てまり営業所
ライフパートナー居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所あゆみ・三歩
勝田台ケアセンターそよ風	ケアプラン未来
居宅介護支援事業所オーケーサービス	アイズケア居宅介護支援事業所
ファーストステージ居宅介護支援センター	ケアプランスキルアップ
あすなろ介護サービス	指定居宅介護支援事業所ほうゆうの里
ういず・ユ-介護プラン相談所「支え愛」	ケアプランなのはな佐倉
ニチイケアセンター八千代緑ヶ丘	居宅介護支援事業所 ひまわり
在宅介護支援センター美香苑	居宅支援センター マリンピア銚子
在宅介護支援センターはなみずき	

※平成27年度中に給付管理を行なった事業所 順不同。

## 7. 認知症施策における市町村との連携

葛南部認知症疾患医療連絡協議会、八千代市認知症診療連携の会に出席し、医療機関と認知症を有する高齢者に対する支援連携の向上を図りました。医師や医療機関と相互理解が深まり、実際のケース支援において連携がスムーズに行なえた事例もでています。

## 8. 介護予防・日常生活支援総合事業に向けた市町村との体制整備

センター内で、今一度、社会資源の精査をした結果、新たな資源の把握にも繋がりました。また、そのデータについては、生活支援体制整備事業協議体にも活用されるなど、有効的な活用が行なわれました。さらに、同協議体や地域包括支援センター管理者会議等でも、経験から感じている課題について、積極的な提言を行っています。

## 9. 災害時の対応強化

前年度整備した高齢者のリストについて、常時更新を行っており、災害時でも情報が使用、共有ができるように備えています。

また、被災時の備えとして、職員が救援に回ることが出来るよう、職員分の食料や防災グッズを備蓄していますが、今後は、備品リストや食料品の賞味期限などの一覧を作成し、確実な管理を行なえるように努めます。

## 10. 法人との連携強化

毎月の会議や定期連絡などにより、法人本部との情報交換・共有を密にし、業務理解を得ることで、緊急一時保護受け入れなどのバックアップ体制が築けています。地域包括支援センター運營業務を行

うにあたり大きな助けとなっています。また、運営状況に対しても、常に報告し、諸問題に対する改善協議も行なっております。

## 11. 職員の育成

地域包括支援センター職種別会議や外部研修の積極的な参加を奨励し、専門性の向上に努めています。併せて、情報の共有のために研修報告書や会議録の回覧をしております。また、センター内部でも、月に1回、課内会議、ケース会議を実施しています。課内会議にて、各職員の主担当事業の進捗状況確認や、事業進行の協議・修正などを行なうことにより、計画に沿った事業を実施することができています。また、ケース会議では、対応に苦慮しているケース等の検討を積極的に行なう事により、よりの確・確実な対応を目指すとともに、職員の相談対応力の向上にも効果が感じられています。

### 研修・会議参加一覧

日にち	研修名	参加者
6月24日	やちよケアマネネットワーク研修 「八千代市高齢者保健福祉計画」を読み解こう	主任介護支援専門員 看護師
7月9日	平成27年度アルコール関連問題研修会及び精神保健福祉担当者研修	主任介護支援専門員 保健師
7月23日	八千代市認知症診療連携の会 事例検討	社会福祉士 看護師
9月3日	平成27年度アルコール関連問題研修会及び精神保健福祉担当者研修	主任介護支援専門員 保健師
9月15日	やちよケアマネネットワーク研修 八千代市民生委員高齢者部会との交流会	主任介護支援専門員
10月14日	東葛南部圏域における地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み事例	社会福祉士・看護師 主任介護支援専門員
10月23日	平成27年度千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修	看護師
12月14日	地域ケア会議等活動支援事業ブロック会議	保健師
2月4日	千葉県高齢者虐待防止対策研修(専門研修)	社会福祉士
2月9日	地域包括支援センター職員研修	社会福祉士
2月25日	八千代市認知症診療連携の会 「HDS-Rの理解のために」・「事例発表・検討」	社会福祉士・看護師 主任介護支援専門員
3月1日	千葉県高齢者虐待防止対策研修会 虐待対応現任職員研修	看護師
3月18日	やちよケアマネネットワーク研修 今後、問われる介護支援専門員の未来(しんか)像	主任介護支援専門員
日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者・主任介護支援専門員会議	センター長 主任介護支援専門員
毎月1回	八千代市地域包括支援センター社会福祉士会議	社会福祉士
毎月1回	八千代市地域包括支援センター看護職会議	保健師・看護師
1月27日	八千代市高齢者虐待防止地域連絡会代表者会議	社会福祉士
7月16日 10月8日	八千代市地域ケア会議(地域包括支援センター運営協議会)	センター長
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員
毎月1回	村上地域包括支援センターケース会議	全職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。